

- 1 単元名・教材名 しつもんしあって、くわしく考えよう 「あったらいいな、こんなもの」
- 2 児童の実態と本単元の意図

(略)

(2) 本単元の意図

本単元は、学習指導要領〈知識及び技能〉の(1)「キ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて質問や感想を述べたりすること」と、〈思考力、判断力、表現力等〉の「A 話すこと・聞くこと」(1)「ア 伝え合うために必要な事柄を選んでいること」、「エ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっていること」を受けて設定している。

身に付けさせる資質・能力

- ・相手に分かるように、話す事柄の順序を考え、声の大きさや速さなどに気を付けて、丁寧な言葉で話す力
- ・大事なことを聞き落とさないように気を付けながら友たちの話を聞き、感想を述べたり、質問をしたりする力

まず、単元名とリード文を読み、学習目標を確認させる。次に、挿絵を手がかりに、自分の「こんなものがあつたらいいな」と思う道具について自由に想像を膨らませ、学習への興味をもたせる。それから、教師作成の「あつたらいいな、こんなもの」を提示し、「こんなものがあつたらいいなと思う夢の道具」を考えると学習の見通しをもたせる。

その際、「宿題をしてくれる鉛筆」とか「お金が生る木」など、自分のためだけの道具を考える児童も考えられる。発想や意欲は認めながら、「夢の道具」は、「人の役に立つもの」とか「あるとみんなが楽しくなるもの」等という視点で考えさせたい。

第2次では、前時に考えた夢の道具を具体的に表す学習を行う。

まず、教科書の吹き出しや教師自作の夢の道具を振り返らせ、自分があつたらいいと思うことを「○○のとき、△△する道具」という話型でノートに書き出させ、クラス全体で交流させる。夢の道具を想像する視点（人の役に立つもの、みんなが楽しくなるもの等）で自分の道具をもう一度見直し、決定させる。それを絵に描き、説明を加えさせる。児童の中には、思い浮かべたことを言葉で表現することに難しさを感じる児童もいると考えられる。まず、絵を描いて道具の特徴について考え、それから「わけ」「はたらき（できること）」「形や色、大きさ」等について、付箋を利用し、短い言葉で自由に書かせるという順序で進める。

次に、夢の道具について、友だちとの対話を通して詳しくする学習の仕方を確かめる。

付録 CD を聞き、質問の仕方や内容を確認させる。音声を通して、尋ねる内容を聞き取らせ、聞く観点をはっきりさせる。その後、動画を見せ、どういう聞き方・尋ね方をすると夢の道具の説明が詳しくなるか態度面からも考えさせる。「いいね。」「すごいね。」「どうして〜と思ったの。」「ほかにどんなことができるの。」などの言葉のやり取りによっても、相手が話しやすくなることに気付かせたい。

そして、「夢の道具」について対話を通してさらに詳しく考えさせる。CD や動画で学習した言葉のやり取りを「うけとめることば」「しつもんすることば」として掲示し、言葉を意識させながら対話をさせる。ペアの友だちとの対話を通して、広がったり深まったりした考えを、違う色の付箋に書かせる。ペアを変えて対話を重ね、増えた考えを付箋に書き足していき、友だちとの対話によって考えが深まっていくことを実感させたい。ある程度自由度が高い話し合いになるので、机間指導で活動の様子を見取りながら、必要に応じて声かけ等の指導をしていく。

それから、付録の CD で発表会のモデルを聞かせ「あつたらいいな、こんなもの～ゆめのどうぐ～はっぴょう会」の見通しをもたせる。

まず、発表会では、丁寧な言葉を使って話すことに気付かせる。そして、簡単な道具の説明、考えたわけ、形や色、大きさについて説明していることを確認させた後、自分の夢の道具の発表メモを書かせる。次に上手な聞き方について考え、どんなふうに聞いてもらえると気持ちよく発表することができるかを話し合わせる。もう一度を CD を聞き、話し合ったことを確認させる。

第3次では、「あつたらいいな、こんなもの～ゆめのどうぐ～はっぴょう会～」を開く。

どのような話し方・聞き方をしたらよいかを確認し、自分のめあてを決めさせる。発表会の進め方を確認し、グループごとに発表会をさせる。丁寧な言い方で発表することにより、発表と対話では、話し方を区別することにも気づかせたい。

学習のまとめとして、丁寧な言い方と普通の言い方の区別や、質問の仕方など、「話すこと・聞くこと」の力として身に付けたことを振り返らせる。他教科や生活にすぐに生かせるため、どんな場面で身に付けた力を使えるかも考えさせ、実践意欲を高めたい。

3 研究主題との関わり

研究主題『確かな学力と豊かな心を育てる国語教室』
～生きて働く力を育てる指導法の工夫～

本研究で目指す「確かな学力と豊かな心が育っている児童」とは、「生きて働く力を身に付けている子」である。「生きて働く力」とは、「学習の基本となる確かな国語力を身に付け（語彙力）、自分の思いや考えを、伝え合いや学び合いを通して広げ深める力（表現力）」と考える。そのためには、児童の実態を正しく把握し、年間を通して確実に指導事項が身に付くように、単元を通して付けたい資質・能力を見極め、言語活動を通して指導していく。

そこで、本単元では、次のような手だてを考えた。

仮説①

単元を通して付けたい資質・能力を明確にし、その力を付けるための言語活動を設定する。言語活動（学習のゴール）に向けて、主体的に学び、学ぶ楽しさを味わうことにより、生きて働く力が育つであろう。

〈手だて〉 ○自分の考えたことを絵と言葉で表す活動

学習のゴール「あったらいいな、こんなもの～ゆめのどうぐ～はっぴょう会」に向けて、主体的に学ぶための手だてとして、自分が考えた夢の道具を絵や言葉で表す活動を設定する。教科書の例や教師作成のモデルを参考にし、学習活動をイメージさせ、「あったらいいなと思うもの」を自由に想像させる。想像したことを絵に表し、「できること」「わけ」「はたらき」等を考え付箋に書き、絵の周りに貼っていく。付箋を利用することで、想像したり考えたりしたことを、気軽に自由に書くことができる。このような活動を通して、主体的に学び、学ぶ楽しさを味わうことができるであろうと考える。

仮説②

単元を通して、相手意識・目的意識をもった学習活動を工夫する。協働的に学び合う場を設定し、互いの思いや考えを主体的に伝え合い、考えを広げ深めることにより、生きて働く力が育つであろう。

〈手だて〉 ○友達との対話を通して、自分の考えを広げ深める活動

自分が考えた「あったらいいな、こんなもの」をペアの友だちと対話をしながら詳しく考え、発表メモを作成し、発表会を開く活動を設定する。ペアで対話することにおいて、話し手は、自分の思いを大切にしながら、あったらいいなと思うわけやできること等を聞き手に分かりやすく話すことができるようにする。聞き手は、大事なことを落とさないように、最後まで聞き、話す人を見てうなずいたり拍手をしたり、質問や感想を言ったりすることができるようにする。また、発表会を通して、話し方・聞き方の良いところを見つけたり、友だちの発想の面白さや説明の分かりやすさなどを見つけたりできるようにする。このような活動を通して、互いの思いや考えを主体的に伝え合い、考えを広げ深めることができるであろうと考える。

4 単元の目標

- (1) 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。 〈知識及び技能〉(1)キ
- (2) 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉A(1)エ
- (3) 伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉A(1)ア
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合うとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

5 本単元で取り上げる言語活動

・自分が考えた夢の道具の発表会を開く。

(関連：A話すこと。聞くこと 言語活動例ア)

6 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| ①丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。 (1)キ) | ①「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 (A(1)エ) ②「話すこと・聞くこと」において、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 (A(1)ア) | ①進んで、あったらいいなと思うものについて考え、学習の見通しをもって、質問したり感想を伝えたりしている。 |

7 単元の指導と評価の計画 (全8時間)

| 次 | 時 | 主な学習活動 | 学習内容 | 指導上の留意点・評価 |
|---|--------|--|--|---|
| 1 | 1 | ○単元名とリード文を読み、学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 | ○学習課題の確認 ○単元全体の見通し ・教師作成の夢の道具(絵)の提示 | ○質問によって考えを広げたり深めたりする学習だと意識させる。 ○学習のゴールとして、「あったらいいな、こんなもの～ゆめのどうぐはっぴょう会～」を開くことを伝える。 |
| 2 | 2 3 | ○「こんなことができたらいいな」と思うものを考え、クラス全体で考えを交流する。 ○「あったらいいな、こんなもの(夢の道具)」を一つ決めて、絵を描き、道具の説明を短い言葉で書く | ○できるようになったらいいと思うことの交流 ○自分の夢の道具の決定 ○絵に表すこと ○付箋に書き出すこと ・あったらいいなと思うわけ ・はたらき(できること) ・形や色、大きさ 等 | ○「○○のときに、△△する道具」という文に当てはまるように考えさせ、道具の働きに焦点を当てさせる。 ○夢の道具を決め、絵に表せる。 ○「あったらいいなと思うわけ」「はたらき(できること)」「形や色、大きさ」等について箇条書きで付箋に書かせる。 ○考えたことを絵に表すことが苦手な児童には、口頭で道具の特徴やできることを確認し、付箋に書くことを支援する。 |

| | | | | |
|---|---|--|---|---|
| 2 | | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現②】 <u>発表・記述</u> ・身近なことから想像を広げ、あったらいいなと思うものを考え、絵や言葉（付箋）で書いている。</p> </div> | |
| | 4 | <p>○夢の道具について、詳しく考える話し合いの仕方を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声（CD） ・動画 | <p>○聞き方、尋ね方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うなずき、視線・あいづち ・受け止める言葉 ・返す言葉 <p>○尋ねる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あったらいいと思ったわけ ・できること・形や色 ・大きさ ・わからないこと | <p>○付録の CD を聞き、質問の仕方や内容を理解させる。</p> <p>○動画を見せ、詳しく考えるためのやり取りを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現①】 <u>観察・発表</u> ・音声や動画を視聴しながら、聞き方や尋ね方を確認している。</p> </div> |
| | 5 本時 | <p>○対話を通して、夢の道具の説明を詳しくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習 <p>○対話をして詳しくなったことを付箋に書き足す（メモ）。</p> <p>○質問や交流内容を全体で共有する。</p> | <p>○対話の仕方の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話の進め方 <p>○詳しくなったことの付け足し</p> | <p>○質問に答えて詳しくなったことは、メモ（付箋）を取らせる。</p> <p>○ペアで交替して質問し合うことを確認する。</p> <p>○ペアによって時間に差があると思われるので、様子を見ながら声をかけ、時間で区切る。</p> <p>○質問によって、考えが深まることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現①】 <u>行動、観察</u> ・相手の話を最後まで聞き、大事なことを考えて質問したり、答えてメモしたりしているか確認する。</p> </div> |
| 6 | <p>○対話を通して、夢の道具の説明をさらに詳しくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習 <p>○対話をして詳しくなったことを付箋に書き足す（メモ）。</p> <p>○付箋をまとめ、発表する内容を整理する。</p> | <p>○前時の対話についての振り返り</p> <p>○本時の対話についての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時とは異なるペアとの対話 <p>○詳しくなったことの付け足し</p> <p>○まとめりごとにメモ（付箋）の整理・分類</p> | <p>○ペアによって時間に差があると思われるので、様子を見ながら声をかけ、時間で区切る。</p> <p>○質問によって、さらに考えが深まることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現②】 <u>付箋の整理・観察</u> ・付箋に書いたメモを読み返し、まとめりごとに整理しているか確認する。</p> </div> | |

| | | | |
|--------|---|--|--|
| 7 | <p>○発表の仕方を確かめ、発表メモを作成する。</p> <p>○メモをもとに発表の練習をする</p> | <p>○CDを使って、発表会の様子を聞くこと</p> <p>○発表メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢の道具の名前 ・考えたわけ ・できること ・形、色、大きさなど <p>○発表の仕方・聞き方</p> | <p>○ペアでの交流と発表の言葉の言い方に気付かせる。</p> <p>○前時に整理した付箋をもとに、発表メモを書かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>発表の練習</u> ・メモをもとに、発表の練習をしているか確認する。</p> </div> |
| 3 8 | <p>○「あったらいいな、こんなもの～ゆめのどうぐ～はっぴょう会」を開く。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p> | <p>○夢の道具の発表</p> <p>○相互評価</p> <p>○できるようになったことの振り返り</p> <p>○学習のまとめ</p> | <p>○夢の道具の発表を聞き合い、良いところを認め合う機会を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【知識・技能①】 <u>発表</u> ・話す相手や場に応じて、普通の言葉と丁寧な言葉を使い分けている。</p> </div> <p>○「ふりかえろう」や「たいせつ」を参考に、発表したり質問したりするとき大切なことを確認させる。</p> |

本時の展開 (5 / 8 時間)

(1) 目標

友だちと質問し合って、それぞれが考えた道具についてより詳しく考えることができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉A (1) エ)

(2) 評価規準

「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。

【思考・判断・表現】

(3) 展開

| 学習活動 | 学習内容 | 指導上の留意点・評価 | 時間 |
|--|--|--|----|
| 1 既習の言葉を読む。 | ○既習の漢字や学習した用語等 | ○はっきりした声で正しく読ませる。 | 2 |
| 2 本時のめあてを確認する。 | 「あったらいいな」と思うものをくわしく考えよう。 | | 3 |
| 3 話し合いの進め方を確認する。 | <p>○話し合いの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・「あったらいいな」と思うわけ ・はたらき（できること） ・形や色、大きさ ・名前 ・その他 | <p>○詳しくする質問の仕方、答え方を教室に掲示し、全員で確認させる。</p> <p>○質問されて、考えて答えたことは、付箋にメモしておくことを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めに考えた説明を書いた付箋（2・3時間めの学習で使用）と色を変えることを伝える。 | 5 |
| 4 二人組になって、話し合いをする。 | <p>○ペアでの、考えた「夢の道具」についての話し合い</p> <p>○質問されて詳しく考えたことの書き足し</p> | <p>○話し合いが進むように、ペア作りに配慮する。</p> <p>○絵だけを見て話すのではなく、おしゃべりをするような感覚で話し合いをするように助言する。</p> <p>○ペアによって時間に差があると思われるので、様子を見ながら声をかけ、時間で区切る。</p> <p>○付箋にメモし、付箋の数が増えることで、話し合いにより、考えが深まっていることを自覚させる。</p> <p>○ペアで、同じ活動を繰り返しているか机間指導で見届ける。</p> | 15 |
| <p>〈予想される児童の反応の例〉</p> <p>例1 空を飛べる道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どうしてあったらいいなと思ったの？」 →「空をとべたらたのしいからだよ。」 「色は、なに色なの？」 →「空の色とにいて、青と白がまざった色だよ。」 「きれいな色だね。どのくらいのはやさなの？」 →「とってもはやい。」 「とってもどれくらい？」 →「ううん、そうだなあ。(考える)」 等 <p>例2 仕事を手伝う道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「名前は、なんていうの？」 →「おてつだいマシンだよ。」 「どんなおてつだいができるの？」 →「おりょうり、そうじ、おかあさんが言ったじゅんばんにやってくれるよ。」 「すごい、べんりだね。」 →「おかあさんをたすけてくれるんだよ。」 「やさしいおてつだいマシンだね。ほかに、どんなことができるの？」 →「おかあさんのしごとは・・・(考える)」 等 | | <p>〈評価場面〉</p> <p>【思・判・表】</p> <p>〈評価方法〉</p> <p><u>行動、記述</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の話を最後まで聞き、大事なことを考えて質問したり、答えてメモしたりしている児童をB評価とする。 〈努力を要する状況(C)への手だて〉 ・質問の仕方を共に確認し、いくつかの観点の中から選ばせて質問させる。 ・質問に答えられるように、絵や付箋を確認しながら、質問への答えを共に考える。 | |

| | | | |
|---|--|---|-----------|
| <p>5 全体で交流する。</p> <p>〈期待される児童の反応の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問されたら、自分の考えよりもっとたくさん説明できました。 ・名前を一緒に考えてくれて、いい名前が付けられました。 ・付箋が増えて、うれしかったです。 ・友だちの答え方がよかったです。よくわかりました。 | <p>○詳しくなった例の共有</p> | <p>○付箋の数が増えたことで、話し合うことにより、くわしく考えられたことを確認し合う。</p> | <p>10</p> |
| <p>6 本時のまとめとして、自分で考えた道具を詳しくするための活動について書かせる。</p> | <p>○学習したことのまとめ</p> | <p>○本時の学習で学んだことを自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>○話型を提示し、言葉を当てはめて書くことを助言する。</p> | <p>5</p> |
| <p>・「あったらいいな」と思うものをくわしく考えるために、友だちとしつもんしたりこたえたりして話しあった。</p> | | | |
| <p>7 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> | <p>○振り返りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で学んだこと ・新しく分かったこと 等 <p>○次時の学習の見通し</p> | <p>○一人で考えるより、話し合うことでより詳しく考えられたことを確認させ、話し合いの良さを共有させる。</p> <p>○ペアを替えて、また質問し合うことを予告し、次時への学習意欲へつなげる。。</p> | <p>5</p> |
| <p>〈期待される児童の振り返り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと話し合っ、あったらいいなと思うものがくわしくなりました。発表会が楽しみです。 ・最初はむずかしそうと思ったけれど、やってみたら簡単で、いろいろ答えることができました。 ・もっと友だちと話し合っ、くわしくしたいです。 | | | |

9 板書計画

